

県育成医師等の令和2年度配置について

〔 令和2年4月17日
医療介護人材課 〕

1 趣 旨

中山間地域等の医師確保対策として、令和2年度において、県育成医師等を中山間地域に49名（昨年度41名）、不足する産婦人科等の診療科に9名（昨年度6名）配置するなど、医師の地域及び診療科偏在の解消に向けた取組を行った。

2 配置医師数【医療機関別】

（1）広島大学ふるさと枠医師及び岡山大学地域枠医師（52名）

区分	勤務先機関	R1 (R2.3月)	R2年度配置				備考		
			H26卒 (配置4年目)	H27卒 (配置3年目)	H28卒 (配置2年目)	H29卒 【新規配置】			
中山間地域	中堅病院	三次中央病院	7	9	4	2	3		
		庄原赤十字病院	5	5	2	3			
		JA吉田総合病院	1	2	1		1		
		みつぎ総合病院	1	3	1	1	1		
	中小病院	安芸太田病院	1	2	1		1		
		西城市民病院	1	-				奨学金貸与医師と交代	
	計		16	21	3	7	7	4	
指定診療科	病理	広島大学病院	2	2		2			
	産科	広島大学病院 等	3	5		2	1	2	三次中央病院への配置1名を含む。
	計		5	7	-	4	1	2	
その他	広島大学病院 等 (9機関)	13	24	2	4	6	12	大学院進学等を含む。	
合計		34	52	5	15	14	18		

（注）配置対象：法定の初期臨床研修を修了した医師（医師免許取得後3年目以上）以下同じ。

（2）広島県医師育成奨学金貸与医師（13名）

区分	勤務先機関	R元年度配置 (R2.3月)	R2年度配置	備考	
中山間地域	中堅病院	三次中央病院	1	3	
		庄原赤十字病院	3	2	
		JA吉田総合病院	1	1	
	中小病院	西城市民病院	—	1	ふるさと枠医師と交代
	計		5	7	
指 診 療 科 定 科	産科	広島大学病院 等	1	2	三次中央病院への配置1名を含む。
	計		1	2	
その他	広島大学病院 等 (4機関)	7	4		
合計		13	13		

(3) 自治医科大学卒業医師 (24名)

区分	勤務先機関	R元年度配置 (R2.3月)	R2年度配置	備考	
中山間地域	中堅病院	三次中央病院	1	1	
		庄原赤十字病院	2	3	
		JA吉田総合病院	3	2	
		みつぎ総合病院	2	2	
	中小病院	安芸太田病院	2	2	
		公立世羅中央病院	1	1	
		府中市民病院	—	1	新規配置
		神石高原町立病院	2	2	
	公立公的診療所	三原市大和診療所	1	1	
		尾道市瀬戸田診療所	2	2	
		三次市甲奴診療所	1	1	
		庄原市総領診療所	1	1	
		廿日市市吉和診療所	1	1	
北広島町八幡診療所		1	1		
計		20	21		
その他	安佐市民病院	1	3	へき地医療拠点病院	
合計		21	24		

3 配置医師数【地域別】

	広島	広島西	呉	広島中央	尾三	福山・府中	備北	その他(進学等)	計
R1年度	26	3	3	1	7	2	24	2	68
R2年度	36	3	3	1	10	4	28	4	89
増減	+10	-	-	-	+3	+2	+4	+2	+21

4 その他県外医師の招へいについて

本県において、特に確保が求められている産婦人科医師について、広島県地域医療支援センターの無料職業紹介事業を通じて県外から2名の医師(夫婦)を招へいした。

(1) 招へい医師及び赴任先について

医師氏名	赴任先医療機関	赴任元医療機関
牧野康男 (62歳)	庄原赤十字病院 産婦人科 (R2.4.1着任)	豊見城中央病院 産婦人科 (沖縄県)
牧野郁子 (52歳)	府中市民病院 婦人科 (R2.4.1着任)	沖縄県立北部病院 産科 (沖縄県)

※ 牧野郁子医師は令和元年9月1日より府中市民病院婦人科で嘱託医として勤務。

令和2年4月1日より常勤医師として勤務。

※ 庄原赤十字病院及び府中市民病院は、ふるさと枠医師等の勤務する中山間地域の指定医療機関

(2) 招へい医師の赴任に伴う影響・効果

- 庄原赤十字病院の産婦人科は、平成30年4月の分娩再開以来、常勤医師1名の体制であったが、常勤医師2名体制となり、より安全・安心な分娩体制を確保することができる。
- 府中市民病院の婦人科についても、高齢の医師1名体制であったが、医師2名体制に強化されることになる。